

2025. 3. 4

【2次QE予測（24年10-12月期）】

前期比年率+2.9%と小幅上方修正を予想

～先行きも景気は緩やかな回復基調を維持～



経済調査部 エコノミスト
前田 和孝

ポイント

- 2024年10-12月期の実質GDP成長率（2次速報）は前期比+0.7%（年率換算：+2.9%）と、1次速報から小幅上方修正を予想
- 民間企業設備投資は1次速報の前期比+0.5%から同+0.3%へ、公的固定資本形成は同▲0.3%から同▲0.8%へ下方修正されると見込む。民間在庫投資の寄与度は▲0.2%ポイントから▲0.1%ポイントに上方修正されると予想
- 先行きの日本の景気は、底堅い設備投資とインバウンド需要が下支え要因となり、緩やかな回復が続くと予想。一方、トランプ政権の関税政策はリスクに

1. 10-12月期実質GDP成長率（2次速報）は小幅上方修正を予想

内閣府から3月11日に発表予定の2024年10-12月期実質GDP成長率（2次速報）は前期比+0.7%（年率換算：+2.9%）と、1次速報の同+0.7%（同+2.8%）から小幅上方修正を予想する。

需要項目別に見ると、民間企業設備投資は、1次速報の前期比+0.5%から同+0.3%へ下方修正されると予想する。本日発表された10-12月期の法人企業統計の設備投資（除くソフトウェア）は前年比+3.1%と、前期（同+9.5%）から伸びが鈍化しており、1次速報時点での設備投資の需要側推計値を下回ったとみられる。

公的固定資本形成は、12月の建設総合統計の結果を受け、1次速報の前期比▲0.3%から同▲0.8%へ下方修正されると見込む。民間在庫投資の寄与度は、法人企業統計の原材料在庫、仕掛品在庫の結果などが反映され、1次速報の▲0.2%ポイントから▲0.1%ポイントに上方修正されるとみる。

2. 先行きは回復傾向で推移も、トランプ政権の関税政策がリスク

先行きの日本の景気は緩やかな回復傾向が続くと予想する。個人消費は、今年も春闘における高い賃上げ率が実現する可能性が高まっているものの、食品価格の上昇に伴う物価の高止まりで当面は一進一退の推移が続くとみる。設備投資は、人手不足や資材価格の上昇が引き続き足枷となるが、底堅いデジタル関連投資が追い風になると見込む。輸出は、サービス輸出についてはインバウンド需要が引き続き下支え要因になるとみる。一方、財輸出については中国景気の停滞が長期化すると見込まれることに加え、トランプ政権の関税政策がどの程度の広がりや深さを見せるのか現状では不透明感が強く、停滞気味の推移が続くと予想する。

実質GDP成長率予測

(前期比：%)	23/12	24/3	24/6	24/9	24/12 (1次速報)	→予測	
						24/12 (2次速報)	寄与度
実質GDP	-0.1	-0.5	0.7	0.4	0.7	0.7	-
前期比年率	-0.3	-1.9	3.0	1.7	2.8	2.9	-
民間最終消費支出	-0.1	-0.5	0.7	0.7	0.1	0.1	0.1
民間住宅投資	-1.2	-2.8	1.4	0.5	0.1	0.1	0.0
民間設備投資	1.9	-0.4	1.1	-0.1	0.5	0.3	0.0
政府最終消費支出	-0.0	0.2	0.9	0.1	0.3	0.3	0.1
公的固定資本形成	-1.8	-2.0	5.7	-1.1	-0.3	-0.8	-0.0
民間在庫品増加(寄与度)	-0.1	0.3	-0.0	0.2	-0.2	-	-0.1
純輸出(寄与度)	-0.1	-0.3	-0.3	-0.1	0.7	-	0.7
財貨・サービスの輸出	2.8	-4.1	1.7	1.5	1.1	1.1	0.2
財貨・サービスの輸入	3.1	-2.8	3.0	2.0	-2.1	-2.1	0.4
内需(寄与度)	0.0	-0.2	1.1	0.5	-0.1	-	0.0
名目GDP	0.3	-0.1	2.1	0.7	1.3	1.3	-
前期比年率	1.1	-0.3	8.9	3.0	5.1	5.3	-
GDPデフレーター(前年同期比)	4.2	3.1	3.1	2.4	2.8	2.8	-

(出所) 内閣府公表資料より明治安田総研作成

本レポートに関するご取材やお問い合わせは以下までご連絡ください

明治安田総合研究所 エコノミスト 前田 和孝

電話番号：03-6261-7947

e-mail：ka3-maeda@myri.co.jp

※本レポートは、明治安田総合研究所が情報提供資料として作成したものであり、いかなる契約の締結や解約を目的としたものではありません。掲載内容について細心の注意を払っていますが、これによりその情報に関する信頼性、正確性、完全性などについて保証するものではありません。掲載された情報を用いた結果生じた直接的、間接的トラブルや損失、損害については、一切の責任を負いません。またこれらの情報は、予告なく掲載を変更、中断、中止することがあります。

●発行元● 株式会社 明治安田総合研究所 〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-11 TEL03-6261-6411